

武漢事務所週刊ニュース (2016.9.3-2016.9.9)

2016年9月3日

10月、世界中の湖北商人が上海に集まる

8月31日、湖北省政府が記者会見を開き、全国湖北商工連合会主催、上海市湖北商會が実施団体の「2016 楚商協力発展フォーラム」が10月28日、29日に上海で開かれると発表した。

現在、全国各地に81箇所の湖北商會があり、海外には10箇所以上の湖北商會が存在し、湖北省以外の湖北商人数は数百万人に達する。湖北商人は湖北の発展を促進する重要な力である。このフォーラムは各市、州のために経済貿易協力と投資誘致のプラットフォームになる見込みであり、そこで専門プロジェクトの推薦会も行われる予定である。

今年、湖北省の暴雨災害に対し、上海市湖北商會が真っ先に寄付を呼びかけた。湖北省内外の湖北商人による惜しみない協力により、寄付金の合計が1.4億元を超えたという。

2016年9月5日

武漢の都心部では、車の平均スピードが21.3キロ

昨日発表された「2016年武漢市交通発展年度報告書」によると、2015年、武漢の都市部では、車の平均スピードが21.3キロ。今年の上半期、軽度以上の渋滞は7時間で2015年の5時間より2時間も延びた。

「第12次5ヶ年計画」期間中、武漢市の都心部道路での平均速度が2011年の23キロを越えたが、その後4年間、常に21キロ程度を維持した。車速が遅くなるのは渋滞がその原因だと見られる。今年の上半期、都心部で仕事日のラッシュ時による交通渋滞指数が6.6で“中度渋滞”レベルとなった。

交通渋滞指数は、総合的な渋滞状況を反映する数値であり「滞りが無い」、「基本的滞りが無い」、「軽い渋滞」、「渋滞」、「大渋滞」五つのランクに分けられる。例えばこれまでに最も渋滞していた北京が、首都の機能を周辺都市へと分担させたため、2015年の平均指数が5.7となり、“軽度渋滞”レベルまで交通状況が改善された。